ウェブ版はこちら。最新のデータとレーティングはウェブ版が優先されます
alphascope.cc/ja/reports/global-weekly-2026-w39

グローバルマクロ週報 · 2026年第39週（9/21〜9/25）

日銀利上げ後も円安が進行、メキシコ中銀は据え置きでペソは週間3.2%下落 **為替市場の主導要因は引き続き米ドル金利**

9月はFRB、ECB、日銀が相次いで利上げし、スイス国立銀行とメキシコ中銀は据え置いた。政策対応は異なったものの、為替の結果は同様であった。主要10通貨のうち9通貨が対ドルで下落し、上昇したのは韓国ウォンのみである。世界の国債平均利回りは4%に迫り、2007年以来の高水準となった。資金は引き続き利回りの高いドル資産に向かっている。

世界株（MSCI ACWI、ドル建て）	ユーロ圏・ストックス50	日本・日経平均	香港・ハンセン	ドル指数
+1.1%	+1.1%	+2.1%	-1.0%	100.97
終値 161.05	終値 6,302.82	終値 66,364.20	終値 24,510.09	週間 +0.75

ブレント原油
+0.4%
終値 104.32

01

今週の要点

利上げの通貨押し上げ効果は対米金利差次第

日銀は9月18日、7対2の賛成多数で政策金利を1.25%に引き上げた。1995年以来の水準であるが、2人の委員が反対し、植田総裁も追加利上げを確約しなかったことから、円は上昇せず下落した。今週は対ドルでさらに1.7%下落し、ドル/円は158.8と介入警戒水準とされる160に接近した。

据え置きを選んだ国の通貨にはより直接的な下落圧力がかかった。メキシコ中銀は9月24日、全会一致で政策金利を6.5%に据え置き、FRB に追随しない方針を明示した。ペソは週間3.2%安となり、9月23日の1.37%安は半年ぶりの大きな下げであった。スイス国立銀行は0%を維持し、スイスフランは0.4%安。**主要10通貨のうち、対ドルで上昇したのはウォンのみであった。**

世界の国債が同時に下落

ブルームバーグ世界国債指数の平均利回りは水曜に3.99%まで上昇し、2007年以来の高水準に迫った。英国債利回りは2008年以来の高水準、日本国債利回りは3%台を維持、ドイツ10年債利回りは2011年以来の水準となった。背景には、国債の大量発行、原油高によるインフレ懸念の再燃、中央銀行による利上げ継続がある。

債券価格は全面安となった。米長期国債 ETF（TLT）は週間2.4%安、新興国ドル建て債 ETF（EMB）は1.3%安、米国外国債 ETF（BWX）は0.7%安。**今週は主要な債券カテゴリーがいずれも下落した。**

アジアの半導体株は上昇、中国ハイテク株は下落

韓国 KOSPI は週間2.7%上昇した。サムスン電子と SK ハイニックスが個人投資家と外国人投資家の売りをこなし、指数は7000の大台を維持した。台湾加権指数は1.8%高、日経平均は2.1%高。

一方、ハンセン指数は1.0%下落し、3週続落となった。9月23日に北京が DeepSeek と Moonshot AI に対するデータ安全調査を開始したとの報道を受けて1%下落し、金曜に終了したトランプ・習近平会談は通商休戦の2カ月延長以外に目立った成果がなかった。上海総合指数は0.6%安。

> 利上げが通貨高につながるかどうかは、対米金利差の変化による。

02

世界の株式市場

週間騰落（現地通貨建て）

韓国・KOSPI +2.7% 年初来 +68.0%	メキシコ・IPC +2.6% 年初来 +1.1%	日本・日経平均 +2.1% 年初来 +31.8%	台湾・加権指数 +1.8% 年初来 +65.8%	新興国株（MSCI EM、ドル建て） +1.4% 年初来 +24.9%	米国・S&P500 +1.2% 年初来 +13.1%
スイス・SMI +1.2% 年初来 +5.1%	世界株（MSCI ACWI、ドル建て） +1.1% 年初来 +14.6%	ユーロ圏・ストックス50 +1.1% 年初来 +8.7%	ドイツ・DAX +0.4% 年初来 +3.7%	英国・FTSE100 +0.3% 年初来 +7.7%	フランス・CAC40 +0.2% 年初来 -0.9%
カナダ・TSX -0.0% 年初来 +12.9%	中国・上海総合 -0.6% 年初来 -2.0%	豪州・ASX200 -0.8% 年初来 -0.6%	インド・Nifty50 -0.9% 年初来 -11.4%	ブラジル・ボベスパ -0.9% 年初来 +13.9%	香港・ハンセン -1.0% 年初来 -4.4%

各国指数は現地通貨建て。MSCI ACWI と新興国（EEM）はドル建て ETF。

現地通貨建てでは多くの市場が上昇した。韓国+2.7%、メキシコ+2.6%、日本+2.1%である。**一方、ドル建てでは騰落率に大きな差が生じる。**メキシコ株は2.6%上昇したもののペソが3.2%下落したため、ドル建て投資家は今週約0.8%の損失となった。日経平均の2.1%高も、円安分を差し引くと約0.3%にとどまる。欧州は小幅高（ストックス50は+1.1%、DAX は+0.4%）、インド、ブラジル、オーストラリア、香港は下落した。

03

主要通貨の対ドル相場

対ドルの週間騰落

ウォン +0.9% 年初来 +5.2%	人民元 -0.1% 年初来 +4.2%	ルピー -0.4% 年初来 -6.6%	スイスフラン -0.4% 年初来 -4.4%	ユーロ -0.9% 年初来 -3.2%	ポンド -1.1% 年初来 -1.9%
レアル -1.3% 年初来 +5.5%	豪ドル -1.5% 年初来 +4.6%	円 -1.7% 年初来 -1.5%	メキシコペソ -3.2% 年初来 +1.4%		

プラスは当該通貨の対ドルでの上昇を示す。

通貨	レート	対ドル・週間	対ドル・年初来
ウォン	USD/1,367.36	+0.9%	+5.2%
人民元	USD/6.7111	-0.1%	+4.2%
ルピー	USD/96.16	-0.4%	-6.6%
スイスフラン	USD/0.8280	-0.4%	-4.4%
ユーロ	1.1375	-0.9%	-3.2%
ポンド	1.3211	-1.1%	-1.9%
レアル	USD/5.1905	-1.3%	+5.5%
豪ドル	0.7008	-1.5%	+4.6%
円	USD/158.81	-1.7%	-1.5%
メキシコペソ	USD/17.74	-3.2%	+1.4%

ドル指数は週末 100.97（+0.75）。USD/ 表記は1ドルあたりの通貨量。

ドル指数は0.75上昇して101.0となった。下落率が大きかったのはメキシコペソ（-3.2%）、円（-1.7%）、豪ドル（-1.5%）で、いずれも自国金利が米国金利に追いついていない点が共通する。人民元は管理相場のもとでほぼ横ばい（-0.06%）。ウォンは主要通貨で唯一対ドルで上昇し（+0.9%）、半導体輸出と資金流入が支えとなった。

04

金利と金融政策

中央銀行	政策金利	直近の決定	次回会合
FRB	3.75〜4.00%	9/16 に25bp 利上げ、3年あまりぶり。ドットチャートは年内あと1回の利上げを示唆	10/27〜28
欧州中央銀行	預金金利 2.50%	9/10 に25bp 利上げ、年内2回目	10/29
日本銀行	1.25%	9/18 に25bp 利上げ、1995年以来の水準、7対2	10/29〜30
スイス国立銀行	0%	9/24 据え置き、為替介入に関する表現を弱める	12/10
メキシコ中央銀行	6.50%	9/24 全会一致で据え置き、FRB に追随せず	11/5
豪準備銀行	4.35%	来週4.60%への利上げが予想されている	9/29

各中央銀行の公表資料に基づき、発行時に確認。

米国債	週末値	週間変化	年初来
米2年債	4.81%	+5bp	+134bp
米10年債	5.17%	+16bp	+99bp
米30年債	5.49%	+15bp	+65bp

米国債	週末値	週間変化	年初来
10年実質金利（TIPS）	2.83%	+15bp	+90bp

10年国債利回り（月次）	最新月	利回り	前月比
オーストラリア	2026-08	5.01%	+10bp
英国	2026-08	4.99%	+6bp
フランス	2026-08	4.00%	+15bp
イタリア	2026-08	3.99%	+11bp
カナダ	2026-08	3.67%	+13bp
ドイツ	2026-08	3.18%	+11bp
日本	2026-08	2.94%	+15bp

OECD の月次データ（FRED 経由）で、通常1〜2カ月遅れ。水準の確認用で、今週の動きは下の債券 ETF と本文を参照。

債券 ETF	週間	1カ月	年初来
米国外投資適格債（BNDX、ヘッジあり）	-0.2%	-1.5%	-1.0%
米国外国債（BWX、ヘッジなし）	-0.7%	-2.5%	-3.8%
米ハイイールド債（HYG）	-0.9%	-2.0%	+0.5%
新興国ドル建て債（EMB）	-1.3%	-2.9%	-0.9%
米長期国債（TLT）	-2.4%	-4.4%	-6.2%

債券価格と利回りは逆に動くため、ETF の下落は利回りの上昇を意味する。

米10年債利回りは週間16ベーシスポイント上昇して5.17%となり、世界的な利回り上昇をけん引した。月次データでは、英国とオーストラリアの10年債利回りは8月時点で既に5%近くと米国を上回り、ドイツは3.2%、日本は2.9%であった。

各国の金融政策は二分されている。FRB、ECB、日銀は利上げを進め、スイスとメキシコは様子見、豪準備銀行は来週火曜に4.60%への利上げが広く予想されている。**今週、政策金利を据え置いた国の通貨はいずれも対ドルで下落した。**

05

商品・暗号資産

週間騰落（ドル建て）

米天然ガス +9.8% 年初来 -13.3%	ビットコイン +3.6% 年初来 -4.0%	イーサリアム +1.8% 年初来 -9.3%	銅 +1.2% 年初来 +18.9%	ブレント原油 +0.4% 年初来 +71.4%	トウモロコシ +0.1% 年初来 +20.0%
小麦 -1.5% 年初来 +38.7%	金 -2.3% 年初来 -0.5%	銀 -3.5% 年初来 -8.4%	WTI 原油 -7.9% 年初来 +60.9%		

資産	直近	週間	1カ月	年初来
米天然ガス	3.20	+9.8%	+12.5%	-13.3%
ビットコイン	84,034.92	+3.6%	+6.3%	-4.0%
イーサリアム	2,690.48	+1.8%	+7.4%	-9.3%
銅	6.70	+1.2%	+1.5%	+18.9%
ブレント原油	104.32	+0.4%	+18.8%	+71.4%
トウモロコシ	528.25	+0.1%	+2.8%	+20.0%

資産	直近	週間	1カ月	年初来
小麦	703.25	-1.5%	-3.7%	+38.7%
金	4,321.20	-2.3%	-7.1%	-0.5%
銀	64.25	-3.5%	-5.5%	-8.4%
WTI原油	92.41	-7.9%	+12.4%	+60.9%

原油・天然ガス・金属・穀物は期近先物。

ブレント原油は今週0.4%上昇して104ドル、WTI は7.9%下落して92ドルとなり、価格差は約12ドルに拡大した。米イラン停戦への期待が米国の指標原油を押し下げる一方、中東の供給リスクが国際指標を下支えした。実質金利の上昇を受けて貴金属は軟調で、金は2.3%安、銀は3.5%安。天然ガスは9.8%高、銅は1.2%高。ビットコインはハイテク株と連動して3.6%上昇した。

06

来週の注目材料

日付	イベント	注目点
9/29	豪準備銀行の政策決定	2011年以来の高水準となる4.60%への利上げが広く予想されている。豪ドルは今週1.5%下落しており、利上げ
9/30	中国9月の公式 PMI	香港株が3週続落するなか、内需関連の指標が市場の見方を左右する。本土市場は10月1日から1週間休場
10/1	日銀短観（7〜9月期）	大企業の景況感が、日銀が10月末に追加利上げに踏み切るかどうかを左右する。ドル/円は160円に接近
10/2	ユーロ圏9月の消費者物価速報	8月は3.3%。さらに上昇すれば、ECB が10月29日の会合で利上げ打ち止めを示すことは難しくなる
10/2	米国9月の雇用統計	ドル高の基盤は米国の金利水準である。雇用が堅調であれば10月の利上げはほぼ確実となり、他通貨への下落圧

07

データの定義と出典

週間騰落率 = 今週最終取引日の終値 ÷ 前週最終取引日の終値 − 1（2026-09-21〜2026-09-25）。休場の市場は直近の取引日。

株価指数・為替・商品・暗号資産・債券 ETF は Yahoo!ファイナンス（遅延あり）、米国債利回りは FRED、その他の10年国債利回りは OECD 月次データ（FRED 経由）。

為替は各通貨の対ドルでの騰落に統一し、プラスは通貨高を示す。

今週の引用資料

FRB の9月利上げ：Charles Schwab

ECB の9月利上げ：ECB

日銀の7対2での利上げ：CNBC, 9/18

160円に迫る円：Bloomberg, 9/24

スイス国立銀行の0%据え置き：CNBC, 9/24

メキシコ中銀の据え置きとペソ：Rio Times

世界の国債利回り4%に迫る：Bloomberg, 9/24

韓国半導体株が7000を維持：KED Global, 9/23

ハンセン指数3週続落：Business Today

トランプ・習近平会談：CBS News

原油：WTI とブレント：EnergyNow

本週報は公開市場データに基づくリサーチ資料であり、一般の読者を対象としている。個人の財務状況を考慮したものではなく、投資助言を構成するものではない。データには遅延があり、原資料の数値が優先される。

データ時点 2026-09-25 · 雅虎财经（股指、汇率、商品、加密资产、债券 ETF）；FRED（美债收益率、OECD 各国 10 年期国债收益率）

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/global-weekly-2026-w39 · 2026-10-01 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料から。株価データには遅延があり、出典は各レポートに明記しています。

レーティングはすべての読者に向けたリサーチ上の見解であり、個人への売買の推奨ではありません。投資にはリスクがあります。最終判断はご自身で。